

されば總聯合決裂の責は當然組合同僚にある事は明白である。

日本労働總同盟に影響を及ぼす此の重要な労働組合の全國的聯合運動に就て、彼等が最初より誠意と譲讓の精神を缺き、爲めに遂に決裂の止むなきに至つた事を我等は返す返すも遺憾とするものである。

六四

▲出席代議員

塙本重藏 永田幸三 平井夫人

◇日本労働總同盟全國大會

我が日本労働總同盟の第十一年全國大會は十月一、二、三、間に亘り、天主寺公會堂に於て開催された。この日主催地たる關西同盟會員は東京その他の地方代議員を示威運動をもつて迎えんが爲め早朝より中の島公園に參集し午前七時元氣正溢せる地方代議員を握手なし、同九時我組合總務塙本重藏君指揮の下に約千五百名の隊伍を整へ『日本労働總同盟第十一週年記念大會』の大長旗を押たて、途中無事午前十一時會場に到着した。正午一同の席定まるや鈴木會長は講壇の拍手を浴びて壇上に登り大會の序幕は切つて下され、次

に木村義吉氏地方代議員歎辭の辭を述べ根本義助氏此に答へ、友宜齋として向上海會八木信一君、日本農民組合理事杉山元次郎君、八幡同志會池浦善右衛門君、名古屋労働團體代表荒谷宗次君等の祝辭を終て、鈴木會長及び議長の就任挨拶をして

『我労働總同盟は周囲の迫害あるに拘らず奮闘を續け、に十一年大會をかく盛大に開くこゝの出來たのは我労働界の爲めに實に慶賀すべき事であり同時に總同盟がいかに將來責任の大なるかを證するものである』

胃頭し進んで思想的にも又實體的にも四五互製して歸一する所のない我國労働運動の現状を慨嘆し最後に
『我々は出来るだけ大同團結を望むものである。即ち小異を捨て、大同に就くを欲するものであるが然し總同盟は何にの信念もなく何にの定見もなくして野合的妥協をすることには絶対に反対する。労働運動の能率を高めるには我等はその戦闘力を集中せずしては何事もなしえざるものと信するが故に此の態度に向つて挑戦妨害するものがあれば總同盟は徹底的に戦ふことを敢へて辞せぬ』

結び引續いて各種委員を任命し休憩

二時半再び書記の任命被選六通の披露あつて、資格審査委員長審査の結果を參加組合總數四十九出席代議員總數百二十二名を報告し満場一致承認代議員章を配布し、各地同盟會の報告に入らん

六五